

尾道の強みを活かし、安定したしごとの場と活力を創出する

数値目標

指標名	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)
市内総生産	百万円	527,129 (H28)	556,227
一人当たり市民所得	千円	2,736 (H28)	3,067

基本的方向

1

持続的で活力ある産業があふれている

本市の基幹産業や地場産業の支援を充実させ、地域の特色・強みを活かした地域内経済の循環を目指します。また、魅力ある仕事による雇用の創出と多様な担い手の確保、きめ細やかな人材育成により、地場産業の強化、新規創業による地域活性化や農林水産業の収益力向上につながる産業振興を目指します。

2

観光産業の収益性が高まっている

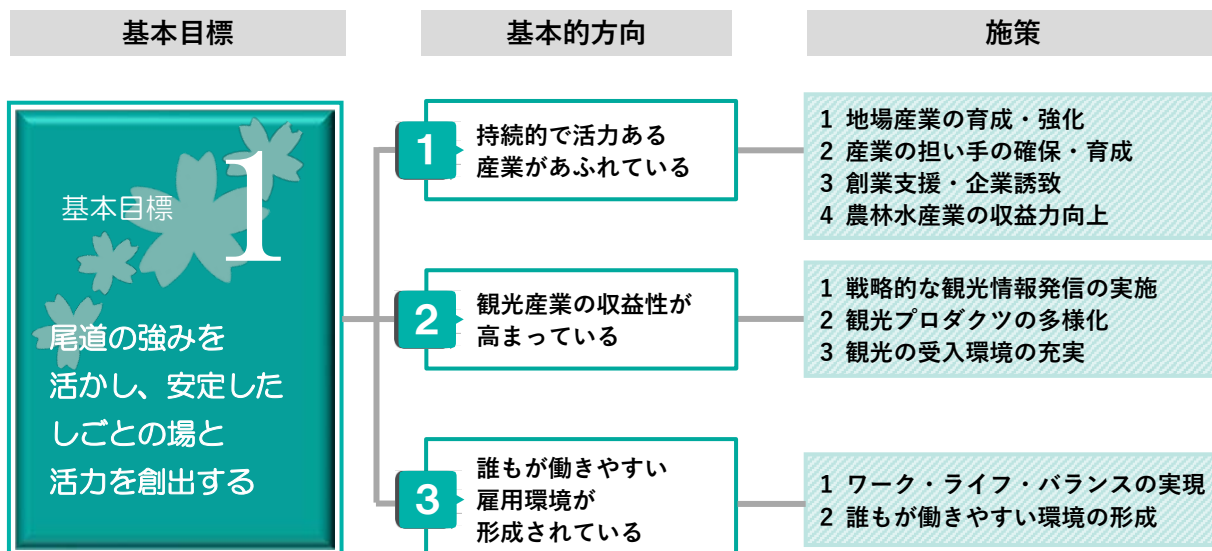
本市の強みである観光産業のさらなる活性化を図るため、瀬戸内の十字路としての拠点性を活かして、多彩で魅力ある観光コンテンツのプロモーション強化、インバウンド等、様々な観光ニーズに対応した観光プロダクツの多様化、受け入れ体制の充実など、戦略的な観光施策により観光消費額の向上につなげる観光振興を目指します。

3

誰もが働きやすい雇用環境が形成されている

女性、高齢者、障害のある人、外国人など、働きたい人が、一人ひとりの能力と経験を活かした仕事につき、生活にゆとりを持ち、ワーク・ライフ・バランスが実現できる社会を目指します。

施策体系図



基本的方向と施策

1 持続的で活力ある産業があふれている

基本的方向 KPI

指標名	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)
事業所数	事業所	7,334 (H28)	維持
従業者数	人	60,661 (H28)	維持

施策 1 地場産業の育成・強化

本市の産業は、基幹産業である造船関連業を中核とする輸送用機械器具製造業やプラスチック製品製造業を含む製造業、卸売業・小売業などが特徴的となっています。多様な中小企業の存在は、日本経済の発展の基盤となる裾野産業群を形成し、地域の雇用を支えているように、本市の経済を支える産業を持続的で活力あるものとするため、事業展開支援や事業資金調達支援など、地場産業の育成・強化を図ります。また、後継者不足に伴う事業の承継に対する支援を行います。

施策 KPI

指標名	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)
事業所数	事業所	7,334 (H28)	維持
中小企業金融支援事業融資実行件数	件	298	維持

具体的取組

- 事業展開支援（販路開拓補助金、産業支援員配置、先端設備等導入計画認定など）
- 事業資金調達支援（中小企業金融支援事業）
- 事業承継支援（産業支援員配置【再掲】）

施策 2 産業の担い手の確保・育成

少子高齢化や若年層の転出超過により生産年齢人口が減少し、担い手不足が深刻化しています。このため、各種研修事業を通じた従業員の資質向上、キャリア教育・地域職業体験の充実など人材育成、女性・高齢者などの多様な労働者の雇用拡大と新規就農者・漁業就業者の育成支援などに取り組むことにより、産業の担い手の確保・育成を図ります。

施策 KPI

指標名	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)
男女別従業者数	人	男性 34,526 (H28)	男性 維持
		女性 25,889 (H28)	女性 維持

具体的取組

- 各種研修事業を通じた従業員の資質向上（因島技術センター運営支援）
- 多様な労働者の雇用拡大（ふる里就職促進事業、企業の魅力発信事業など）
- キャリア教育と地域職業体験の充実（ふる里就職促進事業【再掲】、企業の魅力発信事業【再掲】、海事啓発事業、職業観・勤労観・キャリアを形成する力を育む事業など）
- 新規就農者及び漁業就業者の育成支援（新規就農者育成交付金事業、新規漁業就業者育成漁船漁具等整備事業）

施策 3 創業支援・企業誘致

多様な働き方が求められる中、魅力を感じるビジネスに積極的にチャレンジする人が増えています。このため、若者、女性・高齢者を含めた多様な人材が、新たなビジネスにチャレンジできるように創業支援を行います。また、民間投資をスムーズに受け入れるための官民連携組織の構築を推進するとともに、市外企業の誘致や市内企業の投資への支援に取り組み、新たなしごとの場の創出を進めます。

施策 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
創業支援利子補給金交付対象件数	件	67	維持
企業誘致件数（累計）	件	0	5

具体的取組

- 創業支援（創業支援補助金、創業利子補給など）
- 市内への民間投資の促進
- ターゲットを明確化した企業誘致（工場等奨励金）

施策 4 農林水産業の収益力向上

農林水産業においては、担い手の高齢化が進むものの、Uターンによる新規就農者もあり、高い栽培技術の承継や、高品質な農林水産物の安定生産に加えて、収益力の向上に向けたブランド化を進めています。この本市の特色を守るためにも農林水産業の経営安定化と持続的な発展が必要です。このため、農林水産品のブランド化の推進などを通じた高付加価値化や、IoTなどの先端技術を活かした省力化・生産性の向上を図るスマート農業、農商工連携や他産業からの新規参入の支援に取り組むなど、農林水産業の収益力の向上を進めます。

施策 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
農業産出額	千万円	1,089（H29）	1,090
漁獲量	t	626（H29）	640

具体的取組

- 農林水産品のブランド化の推進（尾道ブランド発展支援事業、地先資源増加対策事業など）
- 先端技術を活かした省力化・生産性向上（おのみち「農」の担い手総合支援事業）

2 観光産業の収益性が高まっている

基本的方向 KPI

指標名	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)
一人当たり観光消費額	円	4,230	4,500

施策 1 戦略的な観光情報発信の実施

本市の強みである観光産業のさらなる活性化に向け、戦略的な観光情報の発信が必要です。このため、本市の魅力的な資源について、観光マーケティングを踏まえたターゲット別戦略に基づき、効果的なプロモーション活動を展開します。また、SNS の活用やメディア等の活用による情報発信にも取り組みます。

施策 KPI

指標名	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)
ロケ支援等対応件数	件	108	120

具体的取組

- マーケティングを踏まえたターゲット別プロモーションの展開（しまなみDMO形成推進事業、しまなみ海道沿線活性化事業、外国人旅行者誘致事業など）
- SNS等を活用した観光PR（インバウンド情報発信事業、せとうち旅情情報発信事業）
- フィルムコミッション事業やPR促進（フィルムコミッション事業、千光寺公園リニューアル事業、しまなみ海道イベント開催事業）

施策 2 観光プロダクツの多様化

本市は、歴史、文化、景観、食、サイクリング、日本遺産など多様な観光資源を有しており、多くの観光客が訪れていますが、宿泊の割合は広島県の平均と比べて低い状況となっています。一人当たり観光消費額についても、広島県の平均と比べて低く、稼ぐ力の強化が必要です。このため、尾道港開港 850 年を契機として、臨海部では尾道港のルネサンスにつながる、外国クルーズ客船などの寄港地としてふさわしい新たな賑わいづくりを図るとともに、島しょ部等も含めた海事観光の取組や、夜間景観の整備など、観光プロダクツの多様化と充実を図ります。

施策 KPI

指標名	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)
総観光客数	千人	6,395	7,500
宿泊者数	千人	418	550

具体的取組

- 宿泊型観光の拡大（夜間景観整備事業）
- 体験型観光の拡大（レンタサイクル事業）
- 尾道の食を活用した交流促進（SAVOR JAPAN 活動推進支援事業、尾道季節の地魚の店認定事業）
- 関係団体と連携した空き家・空き店舗の流動化促進（創業支援補助金【再掲】、空家等活用促進モデル事業）
- 文化・芸術・日本遺産・建築等のコンテンツの活用（日本遺産推進事業、歴史的風致維持向上事業、夜間景観整備事業、現代アートの創造発信事業など）
- 広域観光ルートの充実（しまなみ DMO 形成推進事業【再掲】）

施策 3 観光の受入環境の充実

近年、ナショナルサイクルルートに指定された瀬戸内しまなみ海道でのサイクリングなど、外国人観光客が増加しています。このため、サイクリングロードの環境整備に取り組むとともに、観光ガイドの育成・確保、無料Wi-Fi 環境の充実など情報通信基盤等の環境整備、駅や港、観光地における多言語対応など、受入環境の整備に取り組みます。また、観光客が利用しやすいキャッシュレス化などを進めるとともに、二次交通手段の確保など観光の受入環境の充実を図ります。

施策 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
外国人観光客数	千人	332	513
観光客のうち公共交通利用者数	千人	2,095	2,500

具体的取組

- 外国人観光客の受入環境の整備（外国人旅行者誘致事業【再掲】、観光パートナー養成事業、しまなみ海道サイクリングロード施設整備事業）
- 観光二次交通の確保・充実（尾道広島空港線事業）

3

誰もが働きやすい雇用環境が形成されている

基本的方向 KPI

指標名	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)
市民満足度調査「自分が働いている職場の環境がよい」と感じる市民の割合	%	43.9	50.0

施策 1 ワーク・ライフ・バランスの実現

生産年齢人口が減少する中で、専門知識や経験を備え、働く意欲を有していてもライフスタイル等に関する様々な制約から希望通りの働き方ができない人も多数存在していることから、労働者の満足度と高い生産性の両方を実現する働き方や、女性、高齢者など、全ての人の多様なライフスタイルや制約に応じた柔軟な働き方の実現に取り組む必要があります。このため、すべての人が仕事と生活の両立ができるよう、働き方改革に関する普及啓発や情報発信の充実に取り組み、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。

施策 KPI

指標名	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)
子ども・子育てアンケート「ワーク・ライフ・バランスが実現している」家庭の割合	%	就学前児童 80.0	就学前児童 85.0
		小学生 84.0	小学生 85.0

具体的取組

○働き方改革に関する普及啓発・情報発信の充実（パパの輪プロジェクトなど）

施策 2 誰もが働きやすい環境の形成

少子高齢化や若年層の転出により、産業の担い手不足が課題となっています。そのため、企業は、長時間労働の抑制、仕事と家庭の両立など、誰もが働きやすい、働きがいのある職場づくりに向けて、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいます。このため、本市においても、一人ひとりが能力と経験を尊重され、女性、高齢者、障害のある人、外国人など誰もが働きやすい環境の形成を進めるとともに、外国人がその能力を最大限に発揮し、地域における新たな担い手として定着できるよう、多文化共生を推進します。

施策 KPI

指標名	単位	基準値 (H30)	目標値 (R6)
男女別就業率	%	男性 62.5 (H27)	男性 維持
		女性 43.4 (H27)	女性 44.2

具体的取組

- 女性の活躍支援（女性の活躍支援事業、男女共同参画推進啓発事業）
- 高齢者雇用の拡大支援（高齢者能力活用事業補助）
- 障害者雇用の拡大支援（尾道市地域自立支援協議会就労支援部会による障害者雇用の取組）
- 外国人就労者の受入拡大と環境整備（国際交流推進事業）